＊2019 年 2 月改訂（第 2 版）
2017 年 1 月 26 日作成(第 1 版)

医療機器届出番号：27B1X00117000020

機械器具 51　医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器　輸液用アクセサリーセット　JMDN ｺｰﾄﾞ　70326001

Qimono 輸液用アクセサリーセット

再使用禁止

【警告】
・使用前に Qimo オス及び Qimo メスの接続部を消毒剤で清拭消毒すること。［細菌が混入する恐れがある。］

【禁忌・禁止】
・再使用禁止
・再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】
・形状、構造（代表例）

【使用目的又は効果】
本品は、輸液セットや注射筒などに用いるアクセサリーセットである。キャップ類、コネクタ類、アダプタ類等である。

【使用方法等】
Ⅰ．　Qimo オス：オス・ルアーロック用のセーフティー・アダプター（閉鎖システム）
無菌手技によること
1. Qimo オスを手に取り、輸液セットの標準的なオスルアーロックに接続する。Qimo オスは、これで永続的にルアーロックコネクターに結合される。
2. Qimo オスにプライミングのために、Qimo プライムを接続する。これにより、流動口が開かれる。プライミングが完了したら、Qimo プライムを外し、Qimo オスを閉鎖する。
3. Qimo オスを通して注入、もしくは吸引するには、Qimo オスに Qimo メスを接続する。Qimo オスをつかみ、Qimo メスに対して押して回す。
4. Qimo オスから Qimo メスを外すには、時計と反対周りに押して回す。Qimo オスは、外されると自動的に閉鎖する。

Ⅱ．　Qimo メス：メス・ルアーロック用のセーフティー・アダプター
(閉鎖システム)
無菌手技によること
1. パッケージを開け、Qimo メスを取り出す。
2. 使用する前に、シリンジもしくは輸液セットをメス・ルアーコネクターに接続し、施設内のプロトコルに従い、 Qimo メスを洗い流す。Qimo メスを時計周りに回しながらカテーテルのハブに接続する。
3. Qimo メスを通して注入、もしくは吸引するには、Qimo メスにオスルアーロックを有する機器を安全な接続が確立するまで、押して回す。
4. Qimo メスを外すには、時計と反対周りに押して回す。Qimo メスは、外されると自動的に閉鎖する。

【使用上の注意】
Ⅰ．　Qimo オス
・消毒用キャップがないときは、各使用前と使用後に Qimo オスを消毒すること。
・病院/課のプロトコルに従い、清潔にすること。
・ 輸液セットのオスルアーロックと Qimo オス間の接続/締め、もしくは外す際にクランプや鉗子を使用しないこと。
・この機器の再使用は、機能的、生物学的特性を変えてしまうことがあり、機器の欠陥の、アレルギー反応もしくはバクテリア感染の原因となりうる。
・この機器は、現行の認知されている IV セラピー・ガイドラインに則り、変更されることがある。
・汚染した機器は、所定の廃棄用容器内に廃棄すること。
・この機器は、乾燥もしくは天然ラテックスを原料に含んでいない。

Ⅱ．　Qimo メス
・各使用時に Qimo メスを拭くこと。針やキャップを Qimo メスに用いないこと。
・この機器の再使用は、機能的、生物学的特性を変えてしまうことがあり、機器の欠陥の、アレルギー反応もしくはバクテリア感染の原因となりうる。
・この機器は、現行の認知されている IV セラピー・ガイドラインに則り、変更されることがある。
・汚染した機器は、所定の廃棄用容器内に廃棄すること。
・この機器は、乾燥もしくは天然ラテックスを原料に含んでいない。

【保管方法及び有効期間等】
保管方法
・直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
有効期間
・使用期限は外箱に記載

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】
製造販売業者　：株式会社ビゴン・ジャポン
〒531-0071
大阪府大阪市北区中津 1 丁目 15 番 15 号
中津第 2 リッチビル 3 階
電話 06-6131-5300（代表）
外国製造業者　：ビゴン社.(VYGON S.A.)
外国製造所国名：フランス(FRANCE)

添付文書管理番号：A12-02